

報道関係 各位

病院内の癒しスペースで インフォームドアセントのツール 『こどもの医療に寄り添うデザイナー—学生作品選抜展—』開催中

川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 3 年生による、「こどもの医療に寄り添うデザイナー—学生作品選抜展—」が、川崎医科大学附属病院 3 階のギャラリー「ホリスティック」で開催中です。

子どもに対して、治療についての説明および同意を得ることを「インフォームドアセント」と言います。学生たちが、「病気や治療の内容を、子どもやそのご家族に伝えるためにふさわしいデザインは何か」を模索しながら、授業でインフォームドアセントのツールを制作しました。今回はその中から選抜した作品を、患者さんやご家族に向けて展示をしています。

期 間： 9 月 28 日(金)/開催中～11 月 29 日(木) 9:00～18:00(最終日 16:00 まで)

※土曜日午後、日曜日・祝日は除く

会 場： 川崎医科大学附属病院（倉敷市松島 577）

3 階 ギャラリー「ホリスティック」

対 象： 全ての方(入場無料)

※詳細は別紙記事参照

◇ギャラリー「ホリスティック」とは…

患者さんやご家族の心がなごみ、癒されるような作品の展示を目的として、平成 23 年 4 月に川崎医科大学附属病院 3 階(採血・採尿センター前)にオープンしました。川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科の学生が主体となって、企画・運営しています。

医療福祉デザイン学科は、高いデザインスキルと医療福祉の知識を兼ね備え、医療福祉施設の利用者の皆さんとスタッフがより理解しあえる環境の整備や、新しいコミュニケーションの形などを主体的に提案し実践できる人材の育成をめざしています。



<問合せ先>

川崎医療福祉大学

医療福祉デザイン学科

Tel 086-462-1111 (内線:54900)